

兵庫県^{ささやまし たんばし}篠山市と丹波市の視察（上）

人を呼び込むまちづくり

議員 木 村 諭 史

1. 視察概要

このたびの議員視察は5月18日から20日までの二泊三日、兵庫県にて隣り合う篠山市と丹波市の二か所の訪問となった。新神戸駅からバスに乗り込み、福知山線に沿って宝塚を経て30分もすれば長閑で広大な農村風景が広がっているが、その中に篠山市・丹波市が位置することになる。

2. 篠山市概要と先進性

まず第一の目的地、兵庫県の篠山市は、1999年4月、旧篠山町・西紀町・丹南町・今田町の4町が合併して誕生した。「合併特例法」の適用第1号であり、“平成の大合併”のモデルケー



スとして有名になるなかで年間300件を超える視察や「篠山詣で」という言葉が生まれたほどである。その反面、多様な財政支援策が盛り込まれた合併特例債の過剰な活用による財政悪化でも有名になり、実際に平成26年度決算での将来負担比率は219.0%と全国でも6番目に悪いとされているようである。

ところが実際に訪問した篠山市からは、そのような暗い雰囲気は感じず、むしろ古き良き文化を守りながらも、温故知新で前向きに取り込んでいく姿勢を感じた。その理由として、平成27年度には日本遺産への認定、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟（国内では7都市め）などの活動も挙げられる。

このように篠山市は、都市化に乗り遅れたことで残された農村風景を、むしろ“積極的な武器”として活用し、農都創造などをキャッチコピーに進んできていることが実感できた。加えて、篠山市は合併前より旧 4 町村は篠山城を中心にした多紀郡として文化圏を共通にしている、景観にも非常に統一感のあるエリアであることを感じられた。

3. 篠山市議会訪問

篠山市議会がある篠山市役所に訪れたが、市役所は城址公園に接した見晴らしのいい場所であり、花見の季節には 3 階の市長室も市民に開放しているほどである。市役所庁舎には、



『こども未来課』や『創造都市課篠山に住もう帰ろう室』など住民にとってわかりやすくユーモアのある組織名が並んでいる。

市議会議長との打ち合わせで驚きがあった。なんと式根島の絵本の家、のぞみ文庫のオーナーと同級生だったということから、話が弾み、予定時間を過ぎても意見交換が続いた。

訪問当日に篠山市新人議員研修も行われていたが、篠山市議会は 2008 年の議員選挙の際に、前述の財政問題などを理由に議員定数 20 名中 13 名が一度に新人に入れ変わったため、先輩議員だけでなく行政職員を含めて、新人議員を指導する体制が整えられたようである。また、その際の新人議員の一人が現議長であり、すぐさま広報編集委員長に就任し、先進的な編集方針を打ち出していたようである。この劇的な新陳代謝を前向きに乗り切る篠山の精神をここにも感じられた。

4. 集落丸山視察レポート

築 150 年を超える茅葺の古民家集落である集落丸山を見学した。現在も 19 名の村人が暮らしているが、平成 20 年からの集落内外のメンバーが参加した 12 回にわたる学習会とワークショップを経て、『NPO 法人集落丸山』が設立され、『LLP 丸山プロジェクト』（L

LPは有限責任事業組合という意味)という形で活動し、平成21年より宿泊事業を開始している。

空き家所有者はLLPに無償貸与するが、LLPは改修・活用特典や配当を所有者に提供する。な



お、LLP内には地元のNPO法人集落丸山が予約受付や顧客管理・情報発信を行うが、それだけでなく、新しい外部の力として『一般社団法人ノオト』が専門性を生かして、工事の委託契約や補助の獲得、イベント企画やデザイン管理なども行っている。このように内部と外部の力を協同させて実施していることも特徴である。また、隣島の利島とも椿の記念植樹で交流したことがあり、やはり先進的な活動の裏側には、活発な人材交流があるのがわかる。

一泊朝食付きの宿泊料金は、一棟貸し料金4万円に加えて一人当たりサービス料5千円となるので、例えば2名なら25千円、5名なら13千円となっている。サービスは朝食と宿泊のみで、夕食は他のレストランに各自赴く。宿泊事業は3割の稼働率で採算が合うよう工夫されており、Uターンの若手女性の常勤職員1名を中心に昼前後の宿泊客入れ替え時には近隣から7、8名のスタッフが応援する。

民宿料金に慣れた我々新島村民には非常に高額に思えるが、品質を高めることで、それを求める人に価値のあるサービスを提供していることが理解できた。なお、古民家改修の程度であるが、トイレ・水回り・ベッドなどは新しい素材であるが、それ以外は古き良き素材を生かす改修がなされており、新島・式



根島でも十分再現可能であると思われる。

NPOのリーダーは、『資金や人材もなくともやればできることを証明したい』、『全国的な講師を呼ぶイベントによって、講師のフォロワーがくる、口コミで集客できる』、『全国に居る支援者のおかげで成立している』とも語っていた。しかし、この活動を“先進事例として通り一遍で取り上げてもらいたくない”ようである。それは本人の慎ましさでもあるし、先進事例という完成形のレッテルを恐れていることもあるかもしれないが、なにより表面だけでない、内面的な理解を持って、この事例を受けとめたいと感じた。

次号 丹波市編に続く



議長の目^{アイ}ランド



公共団体等でよく使う言葉の一つに「そういう事は前例がない」という言い方をすることがあります。その先はどうなるのでしょうか？

ほとんどがそれで終わり。計画に載ってない、予算がない、これこれこうだから出来ない。住民の皆様も一度や二度、この様な場面に出合った事はありませんか？これはすべて否定的な言葉です。この先には一筋の光もなく、わずかな希望も見えない。「前例」がなければ前例を作ればよい。計画がなければ計画すればよい、予算がなければ予算を確保する方法を考えればよい。出来ないのではなく、どうすれば出来るのか考えればよい。確かに新しい事を実行するには多くの時間と労力とお金がかかりますが、現在あるすべての前例は最初からあった訳ではない。大勢の人材と時間と予算を使って出来たものです。

次に検討とは物事を詳しく調べ考えること。よいかどうかを調べ考えることとあります。

1. すぐに実行に移すための検討
2. ある一定期間を要する検討
3. 中期・長期を要する検討

さあ、どれに当てはまるかよく考えて早速、諸々の事に取り掛かりましょう。



議長 戸田 邦市